

クロストーク

緊急改修 アイデア

～待機児童解消につながるヒント～

既存保育所を
パワーアップ!



新しく保育所を建設することだけが、待機児童問題の解消策でしょうか?

既存保育所の眠っているスペースを改修することで、保育の質をあげつつ、児童の定員も増やすことが可能です。

新たな施設の建設への反対の声が交錯するなか、建築士ならではの視点で解消にむけたアイデアを提案し、保育に関わる皆様と共に、その実現性について広くディスカッションできればと思います。

平成28年 8月20日(土)

13:30～16:30 (13:00開場)

杉並区役所

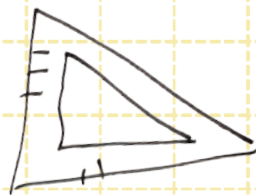
中棟6階 第4会議室

杉並区阿佐谷南1-15-1

(JR「阿佐ヶ谷駅」南口徒歩7分)

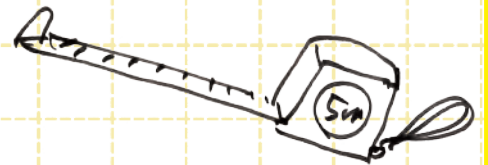
丸ノ内線「南阿佐ヶ谷駅」徒歩1分)

【参加費無料】



プログラム(予定)

- ①報告 杉並の現状と進行中の対策
杉並区保育施設担当課
- ②発表 北区東田端保育園でのとりくみ
社会福祉法人 つぼみ会
- ③提案 高円寺東保育園、今川保育園の改修案
東京建築士会女性委員会
- ④グループ・ディスカッション ほか



お申込方法は裏面をご参照下さい。(お問い合わせ先: yasuraoka@tokyokenchikushikai.or.jp)

共同主催: 杉並建築会、東京建築士会女性委員会 http://www.tokyokenchikushikai.or.jp/jigyo_event/jyosei2016.pdf



「高円寺東保育園園庭壁画」(©吉田香代子)

クロストーク

緊急改修 アイデア

～待機児童解消につながるヒント～



プログラム

2016年8月20日(土)：杉並区役所

1. ごあいさつ (13:30)

働く女性とこどもの居場所

小西 恵
(司会)

gil 建築研究所 司会
東京建築士会女性委員会副委員長

村上美奈子

計画工房 杉並建築会副代表
東京建築士会杉並支部長

中野晶子

本庄晶子建築設計室
東京建築士会女性委員会委員長

2. ご報告 杉並の現状と待機児解消緊急プランについて

高沢正則

杉並区待機児童解消
緊急対策本部 保育施設担当課長

3. 事例紹介 青森県東通村こども園、 米国の就学前の教育の取り組み

村上美奈子

空き家利用の保育施設について

林 美樹

ストゥディオ・プラナ
日本建築家協会杉並地域会代表

キッズハウス池尻大橋 (東京都認可保育園)

上田ときわ

クリエイティブデザイン企画
東京建築士会

4. 発表 北区東田端保育園での試み 居心地を追求し、空間の使い方を細かく見なおす

遠藤幹子

マザーアーキテクチャ
東京建築士会

開園しながらの工程とこどもの安全

新保健一

(有)新保土建

保育の質を確保するプレーヤーとして

中嶋雄一郎

北区東田端保育園 園長

5. 提案 既存保育園改修案 今川保育園

川並順子

元鹿島建設設計部
東京建築士会女性委員会副委員長

高円寺東保育園

神田雅子

アーキキャラバン建築設計事務所
東京建築士会

6. 指揮官はこう考える

田中 良

杉並区長

-----休憩 15分-----

(15:05 ~

15:20)

7. 保護者の視点で考える待機児童問題と改修案について

曾山恵美子

キャリアカウンセラー
東京都利用者支援専門員
(保育の情報提供)

8. ワーク・ショップ 司会：遠藤幹子 改修アイデアに思うこと、賛同意見、提案することなど

全員

8G に別れ意見交換

9. まとめ

定行まり子

日本女子大学教授
東京建築士会副会長

終了 16:30

後援：杉並区役所
共同主催：杉並建築会、東京建築士会女性委員会
資料作成、企画、デザイン、協力：吉田香代子(吉田建築工房)、比護結子(ikmo)、横山眞理(横山環境計画)
佐藤由紀子(F.A.D.S)、野上恵子(riso)、村上和子(菅家建築計画工房)

クロストーク報告 緊急改修アイデア～待機児童解消につながるヒント～

開催日 2016年8月20日
場所：杉並区役所第4会議室

主催者代表 杉並建築会/東京建築士会杉並支部長 村上美奈子
東京建築士会女性委員会委員長 中野晶子

■出席者

参加者数 76名 (報道関係者・行政関係者は含まず)
保育関係者：25名
女性委員会：18名
一般：33名

■掲載記事 東京新聞 毎日新聞 読売新聞 日経新聞

■アンケート結果報告 (40名回答)

- ・満足 10名 やや満足 13名 やや不満 4名
- ・保育園関係者の方がたくさん回答いただきました。(15名の回答)
- ・今回のクロストークを肯定的に評価していただいた方が多かった。行政、保育関係者、保護者、設計士が同じ課題について向き合うことができた機会は貴重だが、今回はクロストークの時間が短かく、このような機会の継続性が求められる。保育関係者からはもう少し自分たちの意見を聞いてほしいという意見もあった。

■杉並区への参加者からの要望(ワークショップ黄色い短冊)のまとめ

- ・建築内容についての意見、子育て環境についての意見が多く見られました
 1. 真に子供たちの育ちと遊びを支える質の高い成育環境を(自然素材、床暖房、半戸外)
 2. 可動家具の検討。コット、トイレ、押入れの改修は Good!
 3. 様々な照明、天井、内装の設計上の工夫に共感
 4. 小学校の空き空間の再利用と5歳児分園。空き保育室を0.1歳保育に利用。
 5. 予算と職員の確保、保育所の設備が職員の質の向上につながる職場環境の改善
全公立保育園での定員増プロジェクト+予算!!
 6. 地域との共存への希望、地域ぐるみで子育てしよう!!
子ども、子育て世代への理解を求める呼びかけを!地域ぐるみで子育てしよう!!
保育園の中に地域へのサービス(専属の担当者)を入れて共存する。
 7. 子育て環境を応援する行政思想
保育園と地域の相思相愛を支える行政へ。
保育士さんと建築士さんと手を組めば子どものための施設ができる!

■今後の展開へ

1. 今川、高円寺東保育園の改修については、もう少し調査、ヒヤリングしできれば、改修計画、施行まで実施し、問題点の洗い出しをする。
2. 保育園長さんたちと、保育園の質を落とさず改修し待機児童を増やす試みについてヒヤリングを実施。
3. 公立保育園を改修して、待機児童解消のための定員増の可能性について実態調査。
4. 小学校敷地内に保育園分園として、5歳児保育空間の確保についての試案作成調査